

## 釜川の花植え活動 —これまでの取り組み

### 活動の目的

釜川は、約 20 年以上前に、中心部活性化の目玉として大規模な周辺環境整備を行い、川に沿って歩いて楽しめる散策路（プロムナード）の整備を行いました。時間とともに次第に市民から忘れられた存在となってきました。

このため、このプロムナードを、市民みんなで「花で飾り」、釜川を「四季折々に花が咲き、多くの来街者が訪れ散策するプロムナード」として、市民の手による再生を図ろうとするものです。

## 1. 活動前の状況

— 平成21年7月撮影



【御橋の西側】(柳が一本残っている所)

※ 雑草が生い茂り、ゴミが目立つ状況でした。



【修道橋の西側】中央小の北側



【修道橋の西側】中央小駐輪場北側

実質的な自転車置き場となっていました。

### 【ふれあい広場】

長い間チェーンでふさがれ、出入りが出来ない状況でした。



## 2. 平成 21 年 9 月, 初めての花植え

(株)キリンアグリバイオから花苗を提供してもらい, 雑草を取り除き, ペチュニア, しゅうめい菊などを連続して植えました。



【修道橋の脇】



【御橋の西側, ふれあい広場の東側】

## 3. 平成 21 年 11 月 7 日大谷石のプランターづくり

【オリオン通り】一般の方に, 大谷石の端材を貼ったプランターづくりに参加してもらいました。出来上がった 18 個のプランターは, 釜川の自転車置き場となっていた所 (修道橋西側) に設置しました。



#### 4. 平成 22 年 6 月， 9 月

#### 「ギボウシ」と「ジャーマンアイリス」の植栽（柳橋の北側）

ドクダミの群生していた所を整備し，ギボウシとジャーマンアイリスを植えました。  
どちらも，苗は一般市民の愛好家から寄贈していただいたものです。



#### 5, 平成 22 年 6 月 6 日（日）夏に向けた花の植え替え



22 年 3 月，大谷石造りのベンチ 3 基を設置しました。  
中心部散策の際の貴重な休憩場所です。

6. 平成 22 年 9 月 18 日 秋の花の植え替え



7. 平成 22 年 9～10 月 ふれあい広場を大改造  
(切り株プランターと寄せ植えプランターを設置して開放)



大型切り株プランター（4基）を設置  
(花と緑のまちづくり推進協議会)



白楊高校の生徒さん製作のプランターを  
20～30個展示してもらいました。

9. 平成 22 年 11 月 28 日 冬に向けた大規模花植え  
ふれあい広場からロマンチックドームまで (冬の彩りに)





10. 平成 23 年 5 月 14 日 夏に向けた花の植え替え  
約 30 人の方が参加してくださいました。





これまで、花植え活動に参加、協力  
していただいた皆さん

#### 花植え活動へ参加していただいた皆さん

- ・キリンアグリバイオ(株) (ジャパンアグリバイオ)
- ・栃木県シルバー大学校上町支部
- ・「花と緑のまちづくり推進協議会」緑のボランティア
- ・宇都宮白楊高校農業経営科,
- ・ユースワークカレッジ
- ・メディア・アーツ専門学校
- ・地元自治会, 商店街

#### 花苗, プランターを提供していただいた皆さん

- ・上吉原信さん (ギボウシ愛好会, 日光市) ⇒ ギボウシ株の提供
- ・阿部真一郎さん (栽培家, 足利市) ⇒ ジャーマンアイリス株の提供
- ・キリンアグリバイオ(株) ⇒ 花苗とプランター, 培養土の提供
- ・白楊高校農業経営科 ⇒ 花苗とプランターの提供
- ・「花と緑のまちづくり推進協議会」 ⇒ 花苗とプランターの提供